

あすなろ通信

感染症 ひとくち情報

新型コロナウイルス感染症について

中華人民共和国（以下中国）湖北省武漢市において、令和元年12月以降、新型コロナウイルスに関連した肺炎の発生が報告され、中国を中心に世界各国からも発生が報告されています。

感染すると、発熱、咳などの呼吸器症状等の症状が現れ、高齢者や基礎疾患のある方は重症化する場合もあるといわれています。

☆対策のポイントについて

～手洗い、咳エチケット、消毒～

季節性インフルエンザと同様に手洗いや咳エチケットなどの感染症対策が有効です。

○流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、口や鼻、目などに触る前に手洗いを徹底しましょう。

○咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆う等の咳エチケットを守り、周りへの感染を予防するためマスクを着用し、人が多く集まる

場所は避けましょう。

○ドアノブなどの手指がよく触れる場所は、消毒剤を浸したペーパータオル等によるふき取り消毒を行いましょう。

（東京都健康安全センター参照）

「令和^{どくらくぎん}独楽吟」 その2

「独楽吟」とは福井に生きた幕末の歌人、橘曙覧（たちばなのあけみ）が読んだ歌で、「たのしみは～とき」の形で詠まれます。地域交流センターあすなろでは、今年この「独楽吟」を皆様とともに高槻中に広めて行きたいと思っています。

独楽吟は主催が福井市「公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会」です。先日、当協会にご連絡して「独楽吟」の名前を使ってよろしいですかと問合せしましたところ、福井市役所から、始まりが福井市の橘曙覧（たちばなのあけみ）であることを説明していただければ、「令和独楽吟」として活動しても良いとのお返事をいただきました。早速、作品をお寄せいただきました。

「たのしみは 昼間独居 留守番で だ
いまの声 耳にしたとき

（お話を聞いてスタッフ吟）

この歌を聞いて、お孫さんが今まで以上に大きな声で「ただいまー」と言ってくれる様になりましたと、笑顔で報告してくださいました。

「たのしみは ひ孫の写メール日に幾度眺めて〇〇と呼びかけるとき」

〇〇は曾孫さんのお名前です。日頃、ご家族の介護に頑張っておられるIさんの歌です。この他にも3首作ってこられました。大変な時もあるけれど、毎日のどこかで楽しみを見つけよう！そんな、前向きな気持ちが周りの方々をも元気にして下さいます。皆様も是非、作品を「あすなろ」までお寄せください。

今年初のランチの日 (1/20)

初ランチは「ごはん、大根とちりめんじゃこのふりかけ、ロールキャベツの野菜あんかけ、かす汁、酒かすゼリー」でした。

